

WASAN

全3回

和算講座

和算を通して江戸の文化に触れてみませんか。
問題作りにも挑戦します。

2010年

11月 2日(火) 算額にみる江戸文化

11月 9日(火) 小説にみる和算の世界

11月 16日(火) 和算に挑戦してみよう



好奇心のある方歓迎!

午前10時～正午
(午前9時30分 開場)

講師 和算を普及する会
NPO WASAN **小寺 裕 さん**

会場 アクロス4階 特別会議室

定員 先着30人(要予約)

費用 500円(全3回分初回一括払い)

持ち物 筆記用具、電卓

申し込み

10月5日(火)から

お申し込み・お問い合わせ **大東市立生涯学習センター **アクロス****
〒574-0036

大阪府大東市末広町 1-301 ローレルスクエア住道サントワー内 ※JR 住道駅南側高層マンション内
TEL: 072-869-6505 FAX: 072-870-1405 E-mail: info@daito-across.jp

HP:「大東 アクロス」で検索 開館時間 午前9時～午後10時 ※地図は裏面にあります。

アクロスの : 当センターの駐輪場は非常に狭くなっています。
お願い : なるべく公共交通機関や徒歩でお越しください。

和算とは・・・



江戸時代の数学を和算といいます。
 現在、我々が学んでいる数学は、明治以後ヨーロッパから入ってきたものですが、江戸時代にも立派な数学が存在していました。
 江戸時代の数学は、ソロバンで足し算、引き算程度かな、と思っている方も多いかもしれませんが。
 本講座では和算の内容を紹介し、江戸の人たちは算術をどのように考えていて、どれくらいのレベルにまで達していたのかを知っていただくことを目的とします。
 数学は本来、お金の計算、土地の測量、穀物の計量などの必要から、数の科学、図形の科学として発達してきました。これは洋の東西を問わず、西洋数学でも和算でも同じことです。
 そして、江戸時代の人達はパズルや遊び感覚で和算を愉しんでいたのです。現代の我々も「和の数学」「レトロな数学」を愉しんでみませんか。
 きっと数学に対する考え方が変わりますよ。



写真：山形県羽黒山神社算額（文政6年/1823年） 450×150cm

江戸時代には和算の問題を解いて絵馬にして奉納していました。この絵馬のことを算額といいます。

会場

大東市立生涯学習センター アクロス

〒574-0036 大阪府大東市末広町1-301
 ローレルスクエア住道サントワー内
 (JR住道駅南側高層マンション内)

- TEL:072-869-6505
- FAX:072-870-1405
- E-Mail:info@daito-across.jp
- HP:「大東アクロス」で検索
- 開館時間 午前9時～午後10時
- 休館日 第2木曜日(祝日の場合は翌日)

お願い:

当センターの駐輪場は非常に狭くなっています。
 なるべく公共交通機関や徒歩でお越しください。



JR住道駅南側に連絡通路で直結しています。

